

本郷地域

1. 地域の概要

○大部分が都市計画区域で、都市生活拠点（本郷駅周辺地区）を中心とし、広島空港、山陽自動車道本郷 IC を有する地域です。



表 対象地区・対象小学校区（本郷地域）

対象地区	本郷町，本郷南，本郷北，下北方，南方
対象小学校区	本郷，本郷西

表 人口・世帯数，土地利用の状況（本郷地域）

	人口・世帯数			面積(ha)	割合 (%)
	人口 (人)	世帯数 (世帯)			
総人口 (人)	10,856		自然的土地利用	7,021.8	85.2
0～14 歳人口 (人)	1,403		田	723.2	8.8
15～64 歳人口 (人)	6,203		畑	47.2	0.6
65 歳以上人口 (人)	3,250		山林	5,906.8	71.7
世帯数 (世帯)		3,951	水面	180.6	2.2
			その他自然地	164.0	2.0
			都市的土地利用	1,217.0	14.8
			住宅用地	222.9	2.7
			商業用地	36.7	0.4
			工業用地	88.3	1.1
			道路用地	374.7	4.5
			その他	494.3	6.0

人口・世帯数	人口・世帯数	
	人口 (人)	世帯数 (世帯)
	10,952	4,209
	2,825	65歳以上
	6,718	15～64歳
	1,409	0～14歳
	10,856	3,951
	3,250	65歳以上
	6,203	15～64歳
	1,403	0～14歳

【資料：人口は平成 22 年・平成 27 年国勢調査，土地利用状況は平成 24 年都市計画基礎調査】

表 都市施設等の状況（本郷地域）

都市施設	道路	種別	計画延長 (km)	整備済み (km)	整備率 (%)	備考
		自動車専用道路	0.0	0.0	0.0	
		幹線街路	5.3	1.6	30.2	
		区画街路	0.0	0.0	0.0	
		合計	5.3	1.6	30.2	
	公園 緑地	種別	箇所	計画面積 (ha)	供用 (ha)	供用率 (%)
		街区公園	12	1.37	1.17	85.4
		近隣公園	2	3.75	2.35	62.7
		都市基幹公園	1	8.10	0.00	0.00
		特殊公園	1	6.30	6.30	100.0
	合計	16	19.52	9.82	50.3	
下水道	処理分区数	認可区域 (ha)	供用済み (ha)	供用率 (%)	備考	
	本郷第 2	27.8	23.5	84.4		
	本郷第 3	30.2	24.4	80.7		
	本郷第 4	63.3	24.1	38.1		
	下北方	135.3	65.7	48.6		
	空港第 1	271.2	269.5	99.4		
	空港第 2	9.0	9.0	100.0		
	空港第 3	22.5	22.5	100.0		
	空港第 4	19.1	19.1	100.0		
	船木第 1	111.3	38.3	34.4		
	合計	689.7	496.1	71.9		
市街地開発	種別	箇所	計画面積 (ha)	整備済み (ha)	備考	
	土地区画整理事業	2	59.64	11.81		
	市街地再開発事業	0	0	0		
	合計	2	59.64	11.81		

2. 地域の現状

(1) JR 本郷駅周辺に形成される市街地

- JR 本郷駅南側の市街地には、商業・業務機能が集積していますが、店舗等の減少が伺え、道路、公園などの公共施設も十分とはいえません。
- 東本通地区では、土地区画整理事業による住宅地の整備が進んでいます。
- 沼田川右岸の北方には、大規模工場や大規模店舗、病院等が立地しています。

(2) 地域の大部分が農村集落と山林

- JR 本郷駅周辺の市街地以外は、沼田川水系の河川沿いの狭い平地に点在する農村集落です。
- 地域北部は急峻な山林が広がっており土砂災害危険箇所もあります。

(3) 広島空港をはじめとした交通拠点

- 広域交通拠点である広島空港、山陽自動車道本郷 IC や広島空港直近の JR 本郷駅など交通拠点を有しており、地域高規格道路広島中央フライトロードの開通により広域的交通ネットワークが形成されています。
- 広島空港大橋（広島スカイアーチ）は、その雄大な景観を活かした観光資源としての活用も期待されています。

(4) 新高山城跡、県立中央森林公園など豊富な地域資源

- 古墳群や新高山城跡、楽音寺など歴史資源が豊富で、女王滝、瀑雪の滝など沼田川水系の自然にも恵まれています。
- 広島空港周辺は竹林寺用倉山県立自然公園に指定されており、県立中央森林公園が整備されています。



写真 新高山・高山城跡



写真 広島空港



写真 中央森林公園



写真 本郷生涯学習センター

3. 地域住民の意識

- 本地域は、全項目の平均の満足度が-0.04 と全市平均（-0.04）と同値であり、全項目の平均の重要度は0.69 と全市平均（0.59）より高くなっています。
- 満足度が全市平均より低く、重要度が全市平均より高い「分類評価Ⅰ」に該当するものは5項目あり、安全性に3項目、利便性・にぎわいにそれぞれ1項目が該当しています。

表 本郷地域の満足度・重要度

			満足度	重要度	分類評価
安全性	1	建築物の不燃化・耐震性の確保	0.13	0.76	Ⅲ
	2	災害対策	-0.08	1.10	Ⅰ
	3	広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.40	0.92	Ⅰ
	4	公共施設のバリアフリー化の状況	0.08	0.63	Ⅲ
	5	道路の幅や避難路の確保	0.00	0.93	Ⅲ
	6	夜間街灯による安全性	-0.41	1.25	Ⅰ
利便性	7	公共交通機関の利用のしやすさ	-0.16	0.89	Ⅰ
	8	学校等への行きやすさ	0.07	0.68	Ⅲ
	9	買い物のしやすさ	0.42	0.82	Ⅲ
	10	金融機関への行きやすさ	0.19	0.84	Ⅲ
	11	公民館や集会所への行きやすさ	0.38	0.39	Ⅳ
	12	病院福祉施設への行きやすさ	0.07	0.86	Ⅲ
快適性	13	身近な公園広場	-0.07	0.44	Ⅱ
	14	身近な住まいのまちなみの美しさ	0.12	0.50	Ⅳ
	15	自然や田園風景	0.41	0.38	Ⅳ
	16	下水道等の整備状況	0.26	0.86	Ⅲ
	17	日当たりなどの周辺環境の良さ	0.72	0.72	Ⅲ
	18	公害の少なさ	0.31	0.97	Ⅲ
にぎわい	19	娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.75	0.37	Ⅱ
	20	商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.76	0.61	Ⅰ
	21	祭り・イベント等のにぎわい	-0.11	0.47	Ⅱ
	22	文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.36	0.44	Ⅱ
	23	スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.44	0.48	Ⅱ
	24	キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.60	0.19	Ⅱ
全項目平均			-0.04	0.69	-
全市平均			-0.04	0.59	-

黄色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの（分類評価Ⅰ）

- Ⅰ：特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある
- Ⅱ：満足度は低い重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない
- Ⅲ：満足度は高いが今後も取り組みを重点的に維持していく必要がある
- Ⅳ：満足度を維持するため、今後も取り組みを維持していく必要がある

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

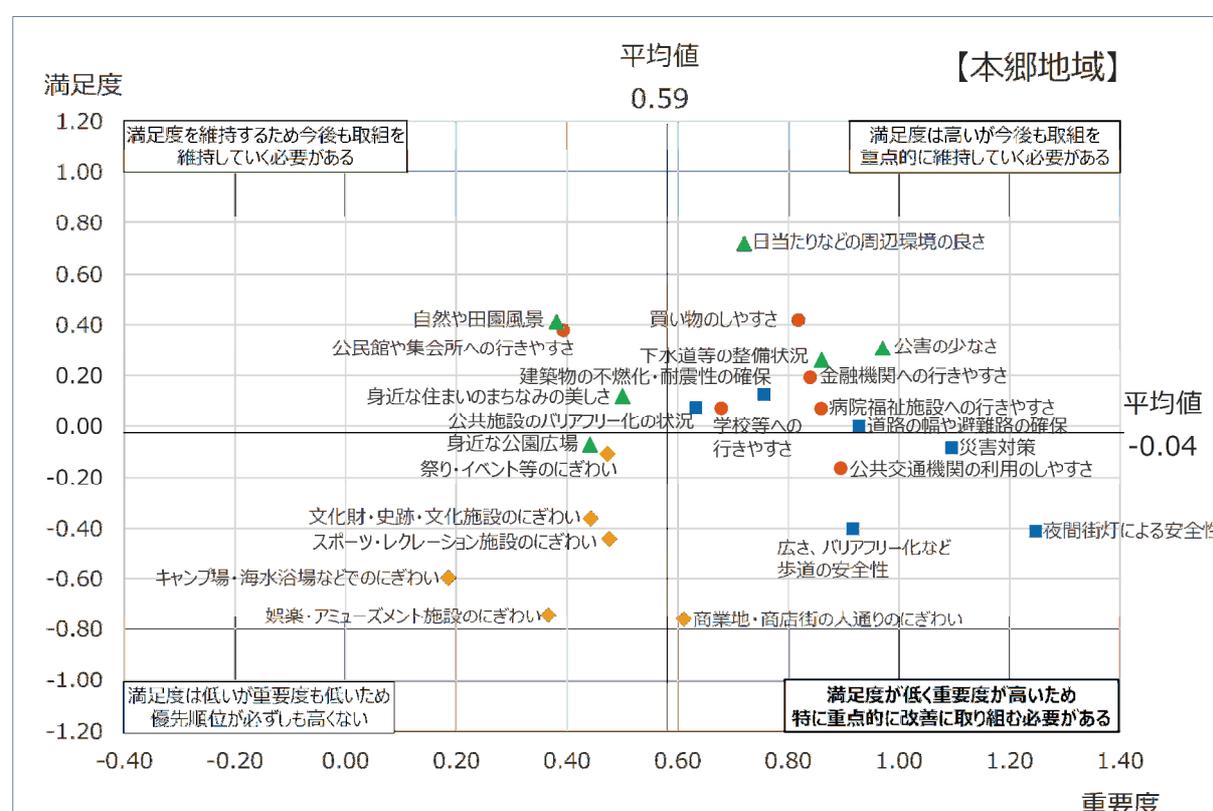


図 分類評価（本郷地域）

※満足度及び重要度の平均値は、全市平均値

4. 地域のまちづくりの課題

(1) 広島空港などの交通拠点を活用した交流の促進

○広島空港、山陽自動車道本郷 IC などの広域交通拠点を活用し、県内外や国外からの来訪者増加に向けた取り組みが必要です。

(2) 歴史・自然資源など地域資源を活かした交流の促進

○新高山・高山城跡、御年代古墳や船木峡周辺など、本地域が有する歴史・自然などの地域資源を活かした交流の促進が必要です。

(3) 土砂災害などの自然災害に強い安全なまちづくり

○市街地・既存集落の背後は急峻な山林となっており、土砂災害危険箇所が多くあることから、防災対策が必要です。

○災害に強い市街地を形成するため、避難路や避難場所などの整備が必要です。

○自動車の走行環境や自転車・歩行者空間の確保により、安全性の向上が必要です。

○河川の氾濫による被害も発生しており、自然災害の発生を防止するための対策が必要です。

(4) 市街地、農村集落の快適性・利便性の維持・向上

○JR 本郷駅周辺の市街地は、商業・業務機能の集積により、生活利便性の向上が必要です。

○公共下水道事業など、生活排水対策により、生活環境の向上が必要です。

○既存の住宅団地や農村集落については、良好な住環境の保全が必要です。

○公園の整備により、快適性の向上が必要です。

5. 地域の将来像

本地域は、広島空港、山陽自動車道本郷 IC など交通拠点を有するとともに、沼田川や竹林寺用倉山県立自然公園などの自然資源、古墳群、新高山城跡などの歴史資源にも恵まれています。

また、都市生活拠点である JR 本郷駅周辺は商業・業務機能が集積していますが、店舗等が減少するなど衰退が伺え、自転車・歩行者空間も充足されているとはいえません。

このような地域特性、課題を踏まえて、目標とする将来像を次のとおり設定します。

人・ものが交流する うるおいのある 臨空のまち

●空港を活かした交流のまち

●地震・火災・洪水・土砂災害などの災害に強い安全なまち

●快適で暮らしやすいまち

6. 地域のまちづくり方針

1 持続可能な住環境の形成に関する方針

(1) 生活拠点における都市機能の集積による生活利便性の向上

- 全体構想で生活拠点として位置づけられている本郷駅周辺については、既存の商業・業務機能を活かした土地利用を誘導することにより、地域住民の生活利便性の向上を図ります。

(2) 複合住宅地における住環境の保全

- 住宅、店舗、事務所等が混在する複合住宅地については、商業・業務機能との調和を図りながら住環境の保全を図ります。
- 住宅と工場が混在し住環境悪化の恐れが大きい場合は、工場適地への工場移転の誘導などにより、住環境と工場操業環境の改善を図ります。

(3) 幹線道路沿道における住環境の保全と業務利便性の向上

- 国道2号沿道については、住環境との調和に配慮しながら自動車関連施設や沿道サービス施設、日常生活に必要な店舗など、業務の利便性を増進する土地利用を誘導します。

(4) 土地区画整理事業などによる良好な居住市街地の形成

- 東本通地区においては、土地区画整理事業により道路や公園などの公共施設が充実した良好な住宅地の整備を推進します。
- 今後、市街化の進行が想定される農地などについては、地区計画制度の活用などにより、道路・公園など生活に必要な公共施設を確保し、良好な居住市街地の形成を図ります。

(5) 住環境を支える交通施設の整備

- (主)本郷久井線や(主)瀬野川福富本郷線など幹線道路の整備を促進することにより、自動車交通を円滑に処理するとともに、路線バス等の走行環境向上による公共交通の利用促進を図ります。また、居住地内の通過交通量を減少させることで、安全性の向上と自動車による排出ガスを抑制し、沿道環境の改善を図ります。
- 地域が運行する地域コミュニティ交通を支援し、通院や買い物など公共交通の利便性の維持・向上を図ります。
- 公共交通へのアクセシビリティ向上のため、鉄道駅・バス停までの歩行空間のバリアフリー化を進めるとともに、広島空港方面への路線バスと本郷駅との交通結節機能を強化するなど、公共交通の利用環境の向上に取り組みます。
- (都)椋本三太刀線、市道中原馬井谷線等の市道整備を推進し、生活環境の改善や自転車・歩行者の安全性の向上を図ります。

(6) 公園・緑地の整備

- 街区公園等の住区基幹公園は、市街地を中心に適正な配置・規模を確保するとともに、施設の整備やリニューアルにあたっては、計画段階から市民の参加を促進し、市民の愛着を育む公園・緑地づくりを図ります。
- 都市公園に設置しているトイレについて、和式から洋式への改修を行い利用環境の向上を図ります。
- 市民に憩いややすらぎを提供する公園が十分でない市街地では、特に不足している街区公園の整備を検討します。

(7) 公共下水道、生活排水対策の推進

- 市街地においては、生活環境の向上、公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道の整備を推進します。
- 公共下水道整備対象区域外の既存集落の生活排水については、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽の設置など手法を検討し、公共用水域の水質保全を図ります。

2 地域資源を活用した活力あるまちづくりの方針

(1) 新たな産業を支える内陸型産業団地の形成

- 本郷町船木において、広島空港や山陽自動車道本郷 IC など恵まれた交通条件を活かし、新たな産業を支える受け皿として、本郷産業団地の整備を促進します。また、新たに整備された産業団地は、産業施策と連携し、新たな産業創出など事業の高度化、多様化を支援する観点から適切な土地利用を誘導します。
- 地域高規格道路福山本郷道路、地域高規格道路広島中央フライトロードなどの広域的道路ネットワークの形成を促進することにより、産業を支える物流機能の強化を図ります。

(2) 広島空港周辺などの自然資源の保全・活用

- 広島空港周辺、船木峡周辺、新高山・高山城跡などの優れた自然環境や、県立中央森林公園などの地域資源を活用し、森林・歴史レクリエーション交流拠点を形成します。
- 三原市空家等対策計画に基づき、地域における環境の確保と活性化を図るため、空き家・空き地の利活用を促進します。

(3) 沼田川などの河川環境の保全・活用

- 沼田川をはじめ市街地を通過する河川は、潤いある自然空間、レクリエーション空間として、その活用を検討するとともに、防災上の観点から河川改修を促進します。
- 市街地を流れる水路は、うるおいを与える資源として保全と活用を図ります。

3 安全・安心なまちづくりの方針

(1) 災害に強い都市基盤の整備

- 地震や火災が発生した場合における、延焼防止や避難に必要な機能が不足している市街地では、避難路、公園等、公共施設の充実により防災性の向上を図ります。

(2) 建築物の不燃化・耐震化

- 耐震診断・改修の相談体制の整備や情報提供の充実を図るとともに、耐震診断・改修への支援制度である三原市木造住宅耐震診断事業の活用により、建築物の耐震化を促進します。

(3) 空き家・空き地の対策・活用

- 空き地・空き家の公共空間としての活用や、危険な空き家の解体・撤去などを進めます。

(4) 土砂災害などの自然災害による被害軽減対策

- 市街地や既存集落背後の急峻な山林は、急傾斜地崩壊対策事業や治山事業などを計画的に実施する事により、土砂災害による被害の軽減を図ります。
- 雨水排水施設の更新・改善により、市街地の浸水の防除を図ります。
- 水害を防ぐため、広島県との連携協力のもと、沼田川等の河川改修を促進します。

(5) 通学路における安全性の確保

- 登下校中における児童生徒の安全性を確保するため、教育委員会、道路管理者、警察等が連携し、通学路の安全点検及び安全対策等を実施し、通学路の安全性の向上を図ります。

4 自然環境や歴史資源、農地の保全に関する方針

(1) 自然環境、歴史資源の保全

- 市街地、既存集落背後の山林や傾斜地は、良好な自然環境、自然景観として、また、防災上の観点から保全します。特に無秩序な市街化の防止や、生活環境の確保、風致の維持が必要な場合には、これらを保全すべき地域として、開発の抑制等を図ります。
- 竹林寺用倉山県立自然公園や船木峡周辺、新高山・高山城跡など優れた自然環境は、良好な自然景観として、また防災上の観点から保全を図ります。

(2) 優良な農地の保全

- 農地は、生産や景観、自然災害の防止など様々な機能を有しており、農業施策と連携しながら、優良な農地である農用地の保全を図ります。

本郷地域のまちづくり方針図



- 地域全体に関する方針
- 複合住宅地における住環境の保全
 - ・商業・業務機能との調和、住環境の保全
 - 幹線道路沿道における住環境の保全と業務利便性の向上
 - ・業務の利便性を増進する土地利用の誘導
 - 住環境を支える交通施設の整備
 - ・走行環境向上による公共交通の利用促進
 - ・公共交通の利用環境の向上
 - ・生活環境の改善や自転車・歩行者の安全性の向上
 - 公共下水道、生活排水対策の推進
 - ・市街地における公共下水道の整備の推進
 - ・既存集落の事業手法を検討
 - 災害に強い都市基盤の整備
 - ・避難路、公園等、公共施設の充実
 - 建築物の不燃化・耐震化
 - ・三原市木造住宅耐震診断事業の活用による建築物の耐震化の促進
 - 土砂災害などの自然災害による被害軽減対策
 - ・急傾斜地崩壊対策事業や治山事業などの計画的な実施
 - ・雨水排水施設の更新・改善
 - 通学路における安全性の確保
 - ・通学路の安全点検及び安全対策等
 - 自然環境、歴史資源の保全

	都市生活拠点		軽工業地
	産業拠点		既存集落
	産業拠点 (新規)		農用地
	交流拠点		森林等
	近隣商業地		自然公園
	沿道型住環境整備地		工業団地 (新規)
	複合住宅地		地域高規格道路 (事業中)
	専用住宅地		地域高規格道路 (計画路線)
	内陸部工業地		都市計画区域